

きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療

内科：内視鏡検査のすすめ

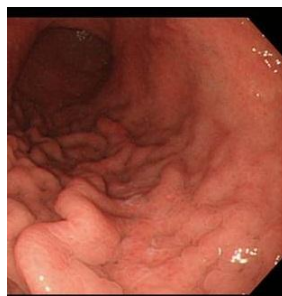
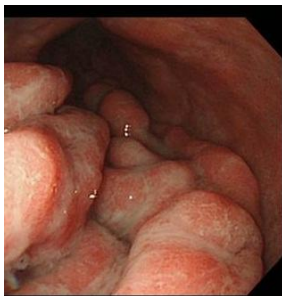


(撮影:渡部 宜久 医師)

1. ピロリ菌って怖い？

最近ではピロリ菌と胃がんとの因果関係が取りあげられており、日本人の半分にあたる約6千万人が感染していると言われています。

ピロリ菌は胃炎や胃潰瘍だけでなく胃がんの原因となりますが、除菌することで胃がんの発生率は3分の1になるとの研究結果もあります。胃内視鏡検査をすれば、ピロリ菌に感染した粘膜か否か判りますので、胃がんのリスクも予想できます。ぜひ、内視鏡での検査をおすすめします。



(除菌の効果)

※ピロリ菌除菌により、胃粘膜のむくみがとれ、若返っています。

2. 増加する大腸がん！

欧米化する最近の高脂肪・低食物繊維食で、大腸がんが急増しています。大腸検査と聞くと「しんどい・・・下剤を飲むのが大変・・・」と、避けられる方も多いと思います。しかし、当院で過去2年間に大腸内視鏡検査を受けられた方の30%以上の方から腫瘍性病変が見つかっています。

無症状であっても大腸ポリープが見つかることが多いので、“がん”に進行しないように内視鏡で切除することが大切です。



(早期大腸がん)

※内視鏡で切除可能だった症例

3. 内視鏡室がおすすめする3つのポイント

①日本消化器内視鏡学会専門医と内視鏡検査技師による安心できる内視鏡検査

検査スタッフは4名の内視鏡検査技師資格を持つ看護師と、経験豊富な消化器内科の医師が担当しています。近隣の開業医の先生方からのご紹介を受け、多くの患者さまに検査やポリープ切除術をおこなっています。

②徹底した医療機器の衛生管理

内視鏡は洗浄、消毒に関するガイドラインに基づいて、検査ごとに過酢酸系消毒液を用いて高水準消毒で洗浄をおこなっています。検査で使用する処置具は、ディスポーザブル(1回限りの使い捨て)としています。

③最新の医療設備(二酸化炭素の使用による安楽な大腸検査と拡大内視鏡による早期がんの発見)

大腸内視鏡検査では、従来使用していた空気の替わりとして二酸化炭素を使用しています。二酸化炭素は腸管への吸収が速やかで検査後の腹痛や腹部膨満が短時間に無くなるため、より楽に検査を受けられます。

胃内視鏡検査では、拡大内視鏡の採用により約100倍で拡大観察できます。拡大機能を用いて、がんの深さや範囲の詳細な診断と胃がん・食道がんの早期発見が可能となりました。

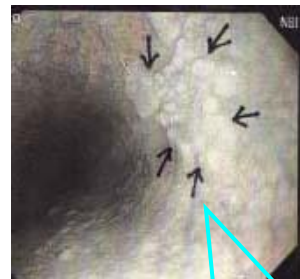
4. 内視鏡検査実績

平成22年度及び平成23年度の検査実績は下記の表のとおりです。

検査の種類・病名等／年月		22年4月 ～23年3月	23年4月 ～24年3月
上部内視鏡	検査総数	3,451	3,406
	食道がん	19	12
	異型上皮	25	21
	早期胃がん	28	31
	進行胃がん	52	51
	乳頭がん	0	1
下部内視鏡	検査総数	1,583	1,538
	腺腫	428	376
	腺腫内がん	15	23
	大腸がん	67	58



(早期胃がん)



(食道がん)

NBIによる観察(矢印で囲まれている部分が腫瘍です)

お知らせ

1. 医師の異動について

4月末日で **皮膚科** 井上 友介 医師 が異動となりました。

5月より **皮膚科** 下浦 真一(しもうら しんいち) 医師 が着任します。

※医師の異動に伴い、外来診療担当が変更となっておりますのでご確認ください。

2. 今月の「ホッとひと息寄り道講座」

今月の講座は、「**内視鏡検査のすすめ ～あなたの胃腸は大丈夫？～**」をテーマに内視鏡室看護師がお話します。お気軽にご参加ください。

日時 5月14日(月)・5月23日(水) 10:00～10:30

場所 玄関ホール 公衆電話前

※過去の講座内容につきましては、当院ホームページでご覧いただけます

トップページ>高砂市民病院の概要

>広報・イベント

>ホッとひと息寄り道講座

「きぼうへのかけはし」に関するお問合せは、
地域医療連携室までお願いします。
連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ http://www.hospital-takasago.jp/